

有難う

— 高橋英雄 詩集 —

第一号

せつない愛

令和2年10月3日

この世の愛には
必ずと云つてよいほど
かなしみがつきまとう。
たとえば親子の愛、夫婦の愛
カラカラとしていても湿り気があり
湿り気のない愛は永つづきしない。
その湿り気しめがかなしみの情となり
せつなさとなり
親と子の間をうるおし
夫婦の間を円滑にする。
神の国がこの世に現われるまでの
プロセスとして
それぞれが経験し卒業しなければならぬ
課題である。

祈る楽しさ

令和2年10月6日

宗教信仰に邪魔なのは
「私わたし」とか「自分おれの」とかいう自我です
それをほぎとるのが祈りです
だから祈りは辛くもありません
けど楽しみでもあります
どれだけ「私わたし」「自分おれの」という
自分を縛っていた想いがほどけ
どれだけ自分をゆるせて
どれだけ自分を愛せるようになったか
祈りは教えてくれます
「空くう」とか「無む」とかむずかしい姿でなく
日常生活あたり前の中に
神さまの姿がごく自然に現われてくるからです

咄嗟の想い

令和2年10月18日

立ちくらみのひどい時は
倒れないようそばの何かをつかみ
しばらく目をつぶって頭をさげている。
その時「五井先生！」と心の中で唱える。
或る時は「世界人類が平和でありますように」
と唱える。
立ちくらみが終わっても
頭がふらふらし足もふらつく
しかし咄嗟に五井先生！と唱えられた。
世界平和の祈りをと念えた
ならばそれでよし。





業にエネルギーを補給しない

令和2年10月9日

(I)

人間は神の分霊わひたまである
 因縁因果は現われては消えてゆく姿
 因縁因果に縛られているのは
 人間の想念であつて
 人間の真実の姿ではない。
 人間は本来神の分霊であつて
 何ものにも束縛されない
 光そのもの
 いのちそのもの
 真理そのものである。

束縛していた想いが
 今、守護霊守護神の光明によつて
 現われて消えてゆくところなのである
 捉とらわれているのが人間ではない
 迷っているのが人間ではない
 迷っている想いが
 捉とらわれている想いが
 今 表面意識に現われて消えてゆくところ
 なのである
 想いは「迷い」という形に現われれば

消えてゆくようになっている
 掴んだ想いを守護霊の光の中に放せ！
 世界平和の祈りの中に投げ入れよ！
 五井先生にわたしてしまえ！
 想いを自分から突き離れたことになるので
 想いは光の中に入り消えてゆく。
 世界人類が平和でありますように
 守護霊様守護神様有難うございます
 五井先生有難うございます と
 祈りの中にひたすら投げ入れる。
 かく神さまを観かんじつづけてゆけば
 想いは光明しょうめいに昇華しょうかし
 自分からはなれ消えてゆく。
 これを繰り返し繰り返し
 うまずたゆまずつづけることが
 神への統一どういつであり
 神への全託ぜんたくである。

神に統一し 全託することによつて
 業想念はエネルギーを失しい
 光明のみエネルギーを得て
 人は光の軌道にのつて
 神の分霊 神の子として
 天地間を巡環するのである

(II)

業想念というのはエネルギーである。
 そのエネルギーをつかまえ
 想いかえしさえしなければ
 自らのところに止めとどめさえしなければ
 エネルギーはそのまゝ雲の如く消えてゆく。
 つかまず 想いかえさず 止めとどめない
 想いが出たら五井先生を呼び
 五井先生におわたしする。
 世界平和の祈りを祈つて
 救世の大光明の中に投げ入れる。
 五井先生はその想いを浄め下さる
 救世の大光明はその想いを光明化する。
 光にあえば闇は必ず消える
 みな光になる。

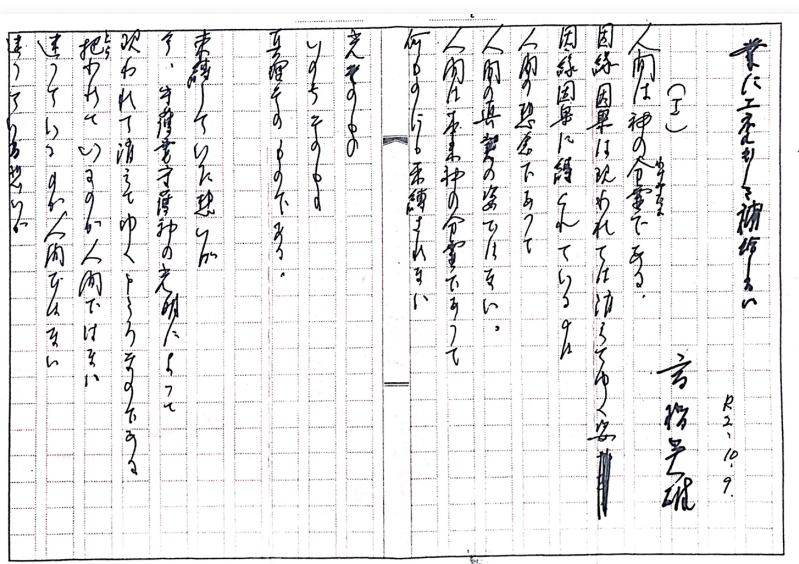
この方法をうまずたゆまずする
 一回やつて成功しなかつたからとあきらめず
 成功するまでやりつづける。
 成功するようになっていふのだからつづける
 守護霊守護神が応援している
 五井先生が力をかけて下さっているのだから
 守護霊様守護神様有難うございます
 五井先生有難うございます、
 とひたすら想いつづけるのである。
 業想念エネルギーはどんくやくせ細ほそり
 そしてやがて消える。
 五井先生の大光明
 救世の大光明エネルギーだけが
 どんくやく増してゆく。

いのり

令和2年10月5日

一回一回の祈りに
 まごをささげます。
 いのちを捧げます。
 己れを神さまに捧げます。
 世界人類が平和でありますように
 わが天命を完うせしめ給え
 神さま(守護霊、守護神)有難うございます
 この祈り言一節に
 この祈り言のひびきの中に
 心のすべてをこめて
 まごのすべてをこめて祈ります。
 只只世界平和の祈りそのものになつて
 神のみ心一筋になつて
 五井先生の御名みな一筋になつて祈ります
 もはや私のいのちではありません
 神さまのものです
 もはや私のまごではありません
 神さまのまごです。

神さまの命が生きています
 神さまのまごが生きています。
 神さまの命と誠のみが生きています
 五井先生だけがまごとなつて生きています
 五井先生だけが命となつて光っています
 五井先生以外 神さま以外存在しません。
 以外のものはすべて五井先生に返上します
 神さまに返上します
 五井先生だけになつて祈つてます。
 神さまだけになつて祈つています。
 神さまだけがここに息づいています。
 神さまだけがここに息づいています。
 有難うございます 有難うございます



ねても覚めても

令和2年10月10日

(I)

ゆつくり吐く息に五井先生！
 ゆつくり吸う息に五井先生！
 と五井先生を唱えつつけ
 子が親を慕って呼ぶように
 五井先生を呼びつつける。
 呼びつつけること
 唱えることに余念なく
 五井先生と全く一つになりきるまで
 うまずたゆまず あきらめず
 呼びつつけ唱えつつける。

ねても覚めても唱えつつけ
 ねても覚めても呼びつつけ
 夢の中でも ねごとにも
 唱えつつけ 呼びつつける。

(II)

ねても覚めても
 五井先生の御名を唱えつつけ
 世界平和の祈りを唱えつつけるべし
 五井先生より他に
 世界平和の祈りより他に
 何もない 何もない
 御名があつて 祈りがあつて 印があつて
 他に何もなし
 何もなし



同封の詩「よふたに」を思ふ人々「なれは」を思ふ法友に

コピーして送る方へ下さい その法友「なれは」を思ふ

つたは地の法友へ：

集會自肅のつたは地の法友へ

言物支組

■ご挨拶にかえて■

「みなさまの投稿を募集します」と「輝」に掲載しましたら、最初に投稿下さったのが高橋英雄さんです。有難いことにそれを機に、毎号ファックスあるいは郵送で支部に原稿をお寄せ下さり、「輝」に掲載を続けさせて頂いております。

「輝」とは別に、「集會自肅がとけるまでのゲームです」と洒落たコメントと共に、昨秋から全国に詩が届けられるようになりました。大阪支部は閉場してしまいますので、拙宅に送られてくる封書が増える度に、いつか「輝」と一緒に皆さまにという思いが膨らみ、遅々とした歩ではありましたが、ようやく第一号をお届けすることになりました。発行は不定期になるかもしれませんが、少しでも進めて参りたいと思います。詩を送って下さる高橋英雄さん、打ち込みやデザイン、編集に携わって頂きましたご奉仕の皆さまに、紙面を借りまして御礼申し上げます。

令和3年6月吉日 O・K

編集 発刊 白光真宏会 大阪支部

住所 〒550-0002

大阪市西区江戸堀2-17-32
 ネオアージュ土佐堀303号室

TEL 06-6444-8620
 FAX 06-6444-8620